

C-69 我が国ブラウスの生産と需要—1960～69年—
実践女大家政 鍛島康子

目的 日本の衣服商品の中から、ブラウスの1960年から69年まで過去10年間の製造統計を調べ、その推移を通して、日本人の服飾品需要の一端を探ることを目的とした。

方法 通産省の工業統計表、および大蔵省の日本貿易年表、その他を資料として、主に経済学的手法によって、需要動向を検討した。

結果 以前からブラウスは衣服製造品の中でも重要な位置にあつたが、今日にいたるほぼ10年間に、その需要は輸出から国内へと変換し、国内の軽装化、略装化に呼応してきた。このことほまた、ブラウス需要の伸び率が所得上昇の伸び率や被服費支出の伸び率よりも上まわつて、低価格工業製品としての性格が被服費中の需要構成変化の一要素となつてきたことを示した。